

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

令和2年度 8・9月

立川市立第九小学校
校長 菊池 修
立川市上砂町2-18-1
TEL042-536-2231

夏休みが終わって

校長 菊池 修

いつもより短い夏休みが終わりました。なかなか自由に出かけられない状況があったり、新型コロナウイルスの感染に注意しながら過ごすという点でも、いつもの夏休みとは違ったものになったかもしれません。

感染状況にはまだまだ注意しなければなりません、2学期がスタートし新たな思いで学校生活を始めていきます。1学期が通常登校になったのは、1か月半でした。2学期が予定通り進めば4か月あります。例年であればそれほどでもないかもしれませんが、これまでの状況の中ではとても長く感じると思います。また、運動会などの行事も予定されておりますので、疲れが出ることも多いと思います。新型コロナウイルスはもちろんのこと、体調管理に努めながら2学期を元気よく過ごしてもらいたいです。

2学期の学校行事等は今後、教育委員会の方針等を受けて詳細を決めていきます。1学期の時点では実施予定だったものも、感染状況から変更や中止になることもあるかもしれません。その時その時の状況で判断するものがありますので、予定の変更についてもご理解をください。

この夏、いつもと違う「夏」がたくさんありました。その中で印象に残ったのが、高校野球です。毎年、「夏の甲子園」として高校野球の全国大会が行われ、各地区で予選が繰り広げられてきました。今年は全国大会が中止となり、各地区での大会が行われました。また、甲子園では選抜大会に出場予定だった学校が交流試合として、各学校1試合のみ行われました。しかも観戦できる人は限られ、ほぼ無観客のような感じでした。東京都の大会や甲子園での交流試合をテレビで見ました。大歓声やブラスバンドの音楽がある応援はありませんでしたが、打つ音、捕る音、お互いに声を掛け合う音、いつもの大会とは違う音がたくさん感じられました。普段私は、東京ドームのライトスタンドで大きな声で選手の歌を歌って応援するタイプでしたが、これらの音が響く野球の試合のよさを感じました。そして、一生懸命プレーする選手の顔は、毎年の予選や全国大会と変わらないように思いました。実際の野球部の高校3年生にとっては、もっと複雑な気持ちがあると思いますが、そのことについてずっと残念がっていてもいけないという気持ちをもった選手もいたようです。目標が大きく変わっても、全力でプレーを見せてくれた選手には心から拍手を贈りたいと思います。

いつもと違った環境、今年のやり方、その中で全力で活躍できる九小の子どもたちだと思います。2学期の活躍を期待しています。